

—牧師室から—

教会員12名で韓国研修旅行を大変意味深く、又楽しくしてきました。参加者たちは強いインパクトを受けました。皆様のお祈りとご支援に心から感謝いたします。

私は三つのことを特に感じました。一つは日本による朝鮮支配時代の問題です。3・1独立運動の発祥の地となったバゴタ公園、村民を教会堂に押し込んで焼き殺した提岩里教会、そして独立記念館、これらは残虐な植民地支配の様をリアルに伝えていきます。本で読み知識としては知っていましたが、現場で見せられると日本の犯した罪深さを改めて思わされました。戦争責任補償は日韓条約により国家間においては解決済みということですが、「慰安婦問題」など個人補償をどうするかが問われています。これは終ることなく問い続けられるでしょう。無残に人生を奪われた人々のうめきは無くなるはずがありません。

二つ目は「板門店」訪問です。第二次大戦後の米・ソの冷戦は悲惨な朝鮮動乱を引き起こし、38

度線を休戦ラインにし、40年を経た今も厳しい緊張の中にあります。しかし、北朝鮮の力を誇示する旗の巨大さは全く子供じみています。そして韓国も、豊かに見える外国人だけに板門店訪問を許可し、北朝鮮に豊かさと自由を宣伝しています。観光地化しているとも見えます。現在韓国に住んでいる北朝鮮出身者が大勢、非武装地帯の手前にあるビルの上から、北朝鮮は全く見えないのにその方向を見やっている「望郷」の姿には心が痛みました。

三つ目は現在の韓国の実情です。私はエネルギーをむき出しにして生きている彼らに圧倒されました。日本に追いつけ追い越せと経済最優先で走ってきたのが今の韓国でしょう。私たちを案内してくれた名ガイドの朴さんは、アメリカナイズされ、お金と安楽さを追うことによって生じた「心の荒廃と世代間の断絶」を嘆いておられました。日本が歩いてきたのと同じ道を進んでいるようです。弱い者、エネルギーを失った者には厳しい社会です。

週 報

1994年8月14日 聖霊降臨節第13主日

巻15 20号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋 吉 隆 雄